

会津若松市議会 現地調査記録簿

開催日時	平成 20年 10月 22日（水） 午後 1 時 10分 ~ 午後 4 時 30分	
開催趣旨	市民との意見交換会での要望事項、現地調査	
開催場所	大戸町地内 林道谷地平線 旧市内 湯川 小田橋から城西町・古川	
出席議員	出席者	大竹俊哉、樋川誠、清川雅史、佐野和枝、横山淳、小湊好廣、長谷川光雄、伊東くに、小林作一、荒井義隆、松崎新、石村善一、斎藤基雄、渡部誠一郎、戸川稔朗、近藤信行、鈴木一弘、田澤豊彦、浅田誠、本田礼子
	欠席者	渡部認、石田典男、木村政司、成田芳雄、（4名は公務欠席） 渡部優生、坂内和彦、土屋隆、目黒章三郎、相田照仁、佐藤義之
参加者数	20名	
視察内容	<p>【林道谷地平線】 大戸町大字高川地内（闇川から黒森地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 6 1 年度から平成 2 5 年度までの事業予定 ・目的 森林の有する多面的な機能、適切な整備、保全そして効率的かつ安定的な経営確保。森林の利用促進、生活環境の改善、産業振興に資するため ・全体事業費 約 1 0 億 8 6 0 0 万円 ・今年度事業概要 施行延長 1 0 0 . 0 m 請負金額 約 2 5 8 9 万円 ・林道用地はすべて地権者の寄付で進められている ・本市財政健全化のため、林道 2 事業のうち 1 事業（舟子地区）を優先し、谷地平線の事業を縮小したため遅れている ・この事業の費用対効果を今後検証しなければいけない ・林道開設と不法投棄監視などの自然環境保持についての検証が必要 ・今後、本市の林道開設事業は計画されていない。新たな事業計画に当たっては議会としての政策判断が必要である <p>【湯川・古川】 小田橋から城西町・古川を徒歩で現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯川・古川の河川管理は福島県が行っている。市は水質検査等の自然環境を監視している ・地元の方々の現地解説と要望事項を聞きながら徒歩で調査をした ・湯川は河川改修後、中州のヨシや柳等により一部流れがよどみ、悪臭を放つ地点があった ・古川は上流の公共下水道が未整備のため、悪臭や濁りが見受けられた 	

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・湯川、古川を今後市民の憩いの場として、「まちづくり」にどのように生かしていくのが課題である・河川内をどのように整備するのか、専門家などによる調査・研究に基づいた行政・住民・事業者などの取り組みが必要である |
|--|--|